

学校教育目標	学ぼう つながろう 切り拓こう 知「主体的で意欲的な学び」徳「自分も大切な人も大切」体「元気な心とじょうぶな体」公「他者と協働」開「新たな価値の創造」				
	創立 43 周年	学校長 地主 佐和子	副校長 佐藤 朋実	2 学期制	一般学級：9 個別支援学級：4
学校概要	児童生徒数： 224 人 主な関係校： 日限山中学校、日限山小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	日限山中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体性 協働 伝え合い	日限山中学校 日限山小学校 南舞岡小学校	<p>探求する心を醸成し、豊かな人間性と創造性を備えた、横浜の未来を担う子どもを育てます。 ～知りたいと思う気持ちを大切に、分かったという喜びにつなげます。分かったという喜びを重ねて、探求する心を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員研修会</li> <li>○教職員授業協議会</li> <li>○児童生徒交流日に授業参観</li> <li>○部活動体験</li> <li>○横浜子ども会議</li> <li>○授業体験</li> </ul>

中期取組目標	<p>○子どもの思いや願いを大事にした教育活動の充実を図ります(子どもの可能性を広げます)(魅力ある学校をつくります)</p> <p>1年目は子どもが学ぶ意義、楽しさを実感できる授業と活動を推進します。2年目は自分の考えをもち、伝えることで、相互理解の基礎となる力を育みます。3年目は伝え合いによる自己の考えの変容や深まりを感じながら、自分以外のためにも力を発揮できる子を育てます。</p> <p>○つながりを継続し本校の伝統をさらに高めることに注力します(豊かな教育環境を整えます)(社会全体で子どもを育みます)</p> <p>3年間を通して、保護者や地域住民とともに、自然豊かな地の利を生かした教育活動を実践し、まちと学校を愛する心を育てます。</p>
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①子どもの興味・関心が高まる生活科・総合的な学習の時間を行い、主体的に対話的な学びに努める。どの学習でも問題解決学習を繰り返す、「主体性」「協働」「伝え合い」の資質・能力を育成できるようにする。②学年に合わせたICT授業視点表を活用し、ロイロノートを活用した授業実践を積み重ねる。
担当	知部会	
徳	人権教育	①人権週間や道徳、いのちの学習等を通して、自分も他者も大切であると知り、多様性を受け入れようとする心を育てる。また、体験的活動については、保護者の参観を促すことで理解をはかる。 ②職員の人権意識を高めるために、研修を実施する。また、学年研・ブロック研の中で児童の情報交換や保護者との関係作りについて話す行う時間を設定し、職員同士が相談できる機会をもつ。
担当	徳部会	
体	健康教育	①なわとびカードや資料を活用し、短なわ、長なわの活動を年間通して複数回行い、体力向上を図る。 ②食育計画の見直しを図り、計画に則って、継続的に取り組んでいく。給食時間などで、栄養士と児童が関わる場面を設定し、栄養や食事の意義について、学べるようにする。
担当	体部会	
公開	自分づくり教育	①年間通して、地域の人・もの・ことや外部の専門家と積極的に関わり、新しい価値や関わる良さを感じることができるようになる。 ②「自分づくりパスポート」を、前・後期末などの振り返りの時間に活用し、目標設定や自分自身の変容や成長を自己価値できるようにする。また、学習資料としても授業の中で扱えるようにする。
担当	知部会	
いじめへの対応		①日々の児童指導や、国語の学習等、また「SOSの出し方教室」で、自分の気持ちを適切に伝えられる言葉を増やすとともに相手の気持ちを理解できるようにする。 ②集団で活動するための秩序を保つために、「南舞岡スタンダード」を基本として児童指導を行う。 ③アンケートや教育相談だけでなく、日々の子どもたちの変化をとらえ、それを職員間で共有して全職員でいじめの未然防止に取り組む。
担当	徳部会	
人材育成・組織運営(働き方)		①メンター研を学校運営組織に位置づけ、経験が浅い教職員が授業力向上や児童対応など学べる場として年間通して研修機会を設けるとともに、職員全体で共有しサポートする体制を作る。 ②会議を勤務時間内に設定し、内容や進め方を見直すことで短時間で有意義な会議を目指し効率的な働き方を実践していく。
担当	主幹教務部	
児童会活動		①SDGsについて、児童が分かりやすい言葉で伝えていく。また高学年は委員会カードにSDGsとの関連が記入できるような欄を設けて、日常的に意識が持てる工夫をする。 ②たてわり班での遠足やレクを継続することに加え、たてわり集会を複数回、取り入れて異年齢集団の関わりをもつようにする。
担当	体部会	
地域学校協働活動		①組織化した地域学校協働本部を生かし、計画的に地域とのかかわる。 ②学年ごとに児童と地域が関わる活動を大切に、年間を通して計画的に地域と関わる活動を行うとともに、学校だよりなどで活動の様子をお知らせし開かれた学校運営を目指す。
担当	主幹教務部	
a14		b9
担当		
a15		b10
担当		